



No.792  
2023.2.17

発行：男声合唱団 昴  
レッスン会場：  
大阪市中央区谷町7丁目1-39  
谷町第2ビル308号 ねむかホール  
連絡先：090-6058-5652(立川)

## 昴友の会 レッスンと歌う会で楽しいひととき



2月5日友の会レッスン風景



友の会レッスン後の歌う会

2月5日(日)、昨年7月から始まった、昴友の会の第7回の例会が開かれました。この日は、女性8人、男声8人の16人の参加でした。まず、体操・米田さん、発声練習・森さんで練習が始まりました。指導は大島さん、ピアノは森さん。

大島さんのユニークで熱心な指導で1時間強、「川の流れるように」「キエフの鳥の歌」「昴」の3曲のレッスンの後、立川さんの司会で、歌う会があり8曲を歌いました。

参加された吉川さんから、「楽しかった。コスモスで歌っていますが、大島さんの指揮は、新鮮でいいです。歌う会ではもっとたくさん歌った方がいいと思います。」と感想をいただきました。

団員のみなさんも、友の会の会員に身近な人を誘って、いっしょに例会に参加してください。

### 大島 成美 (友の会指導担当)

男声合唱団昴はうたごえ運動の大阪の中心合唱団の一つとして20数年前から活動してきました。しかし、発足当初のメンバーを含め、最盛期には50人超えの在籍数を誇っていた合唱団も、今では、練習参加者が半数を切るまでになっています。

男声合唱団昴の衰退はうたごえ運動の衰退につながるもので、何としても団の復興を図らなければならないと思います。今後の発展を願って、日曜団員制度と友の会制度を導入しました。

毎月、第1日曜日の14時から16時まで、「川の流れるように」「キエフの鳥の歌」「昴」の3曲の練習と少しの時間歌う会をしています。練習曲は今年の10月に予定している定期演奏会に参加の予定で練習しています。

合唱練習では、どれくらい楽しくうたえているか、その都度皆さんの表情をしっかりと確かめながら進めています。そのために、高音部担当の人が低音部が聞こえるように声を小さくして歌うことでハーモニーをしっかりと感じ取るなど、練習の仕方を少し工夫したりしています。また、あまり細かい指摘はしないで、気持ちよく流れに乗って歌うようにもしています。

体操、発声練習、合唱練習、歌う会、どれをとってもとても充実した時間が送れています。参加された皆さんは、毎回、来月を楽しみにして帰っていきます。

もっとたくさんの方が参加するようになると、とても楽しい会になると思います。

### ねむかホールの換気設備の改善

1月号でお知らせしたように、ねむかホールの換気設備の改善については、様々な案が出ていましたが、このホールを作る時に施工してもらった奥田建設と相談して、下記のとおり工事をすることになりました。

#### 1. 廊下側から風を取り入れ、西の道路側に流す。

- ①廊下側に20cmの有圧換気扇を2台設置する。
- ②事務所・玄関とホールとの壁に2か所空気口を開ける。
- ③道路側窓下の換気口を利用して、25cmの有圧換気扇を2か所設置する。

○これまでの空気の流れとは反対になりますが、まだ廊下側の換気扇が設置されていない状態で、2月3日定例レッスンと2月5日友の会例会では、換気状態は今までより随分と改善されていました。（計算空気流量：200m<sup>3</sup>/h→600m<sup>3</sup>/h。実測のCO<sub>2</sub>濃度センサーの数値：開始時約500→終了時約650。過去の最高値1000超）

#### 2. 設置費用について

見積り額：424,400円（電気工事・木工事・クロス）  
○ホールの使用料は多くの方が使い易くするため低料金にしていますので、各団体からの会場使用料は毎月のビル管理費7万円や固定資産税などを払い込むと余剰金などがない状況で、利用団体を通じて利用者からのカンパを募ることになりました。

13団体約200人が利用していますので、**一人一口2,000円以上のカンパ**をお願いします。



道路側の壁の中にパイプがあるため、換気扇を壁の中に設置できなかった。壁の中の上がパイプ。下の細長い枠が、換気口。



窓下からホールにせり出す形で換気扇を設置。換気扇の前は何も置かず、この後フィルターを付ける予定。（窓下クロス貼り替え）



事務所とホールとの壁に穴をあけた。この後、間の棧を除去。（事務所側から）



事務所と玄関の壁に換気のための穴を1か所ずつ開け、枠を付けた。（ホール側から）

廊下側の有圧換気扇の納品が遅れていて、まだ未設置です。

#### 三村さんからのメール紹介

休団中のバスの三村さんから、正月にメールが届いていました。やむなく退団することになったという内容で、遅くなりましたが転載します。三村さんは長年、広報部長・運営委員を務めていただいた昴のご意見番、重鎮でした。

昴の皆様 新年おめでとうございます。

お健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昴は第13回コンサートを成功裏に成し遂げられ、おめでとうございます。

今まで熱心にご指導くださいました本並指揮者が勇退されたのは残念ですが、新しくお若い坂井指揮者が就任され、新たな出発をなされていることは、今後の昴の発展にとって素晴らしいことだとお慶び申し上げます。

私こと一昨年前から昨年早々にかけて手術を受け、静養が続く一年でしたが、幸い手術（鎖骨骨折あとの調整手術と直腸がんの内視鏡手術）も上手くいき、いまは快癒して、そこそこの家庭生活は出来る体にはなりました。

ただし、持病のCOPD（肺気腫+慢性気管支炎；これは治ることは無く、悪化しないよう風邪一つひかないよう用心して過ごす必要がある）の進行ため、酸素カニューレが離せず、遠出は出来ない状況で、レッスンやステージに耐える体ではなく、申し訳ないことですが、昴を退団せざるを得ないことに相なりました。

昴に入団以来20年、ともに「うたごえは平和の力」を合言葉に親しく楽しく歌わせていただき、人生一番の貴重な経験を頂きました。今までご厚誼をたまわりましたことを心から深く感謝申し上げます。

コロナがいつまでも終息しません皆さまにも十分お気をつけてご健勝にお過ごしください。昴の益々のご発展も併せて祈念申し上げます。 三村千晴

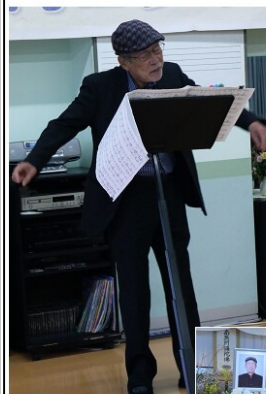
#### 追悼

T1の山本直一さんが亡くなりました。

2月3日の声楽教室に欠席されたのに連絡がつかず、何かあったのでは？と心配していたのですが、2月1日に亡くなっていたのが後でわかりました。体調が悪く、最近日は曜日と声楽教室に参加されていました。

山本直一さんは、多才な方で、歌や俳句、歴史紀行などの活動をされ、句集も2冊発行。第2句集「ちんたらぼん」は、ねむかホールの本棚にあります。

告別式では、本人の生前からの希望で弦楽カルテットの演奏。「カモン」「川の流れるように」など。後ろには、年代別の自画像が。



↑ 2022.10.30 団内コンサートにて「春の夢」を熱唱。最近、ドイツリートを主に歌われていました。

